

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

また、一連の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査日

平成31年4月18日（木）

3 調査対象

市内小学校（13校）の6年生、及び中学校（9校）の3年生

4 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（小学校 国語・算数、中学校 国語・数学・英語）
- (2) 学習意欲や生活習慣等に関する児童（生徒）質問紙調査及び学校質問紙調査

5 調査結果の概要

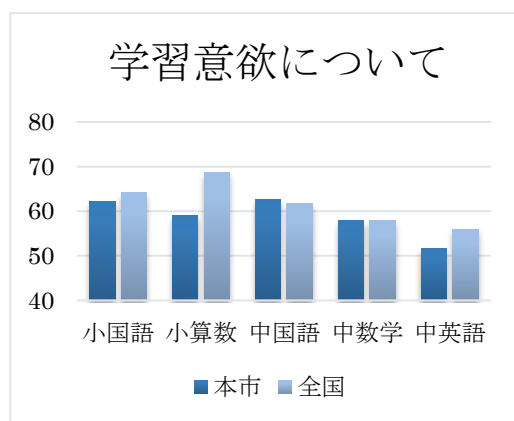
(1) 教科に関する調査の平均正答率（単位：％）

小学校	国語	算数	中学校	国語	数学	英語	中学校英語 「話すこと」 を加えた推計値 *市・全国とも、本市独自の 分析結果による数値	
秦野市	56	62	秦野市	71	57	55		51
神奈川県	61	67	神奈川県	73	59	59		
全国	63.8	66.6	全国	72.8	59.8	56.0		
								51

(2) 児童（生徒）質問紙に関する調査より一部抜粋

	小国語 が好き	小算数 が好き	中国語 が好き	中数学 が好き	中英語 が好き
秦野市	62.1	59.1	62.6	57.9	51.6
神奈川県	64.3	68.8	63.2	59.9	58.4
全国	64.2	68.6	61.7	57.9	56.0

（太字下線は全国平均と同じ又はそれより上）



本年度の調査結果については、経年変化で見ると、中学校では平均正答率・学習意欲ともに改善が見られます。一方、小学校については、平均正答率・学習意欲とも全国平均との差が開く結果となっています。現在本市では、教育水準の改善・向上を重要施策としており、教育委員会では、調査から見える「今求められている学力等」を適切に捉え、各学校と「協働」しながら教育指導の更なる充実を目指していきます。

※調査の内容等につきましては、文部科学省のホームページを御参照ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm

※本結果分析の詳細につきましては、「教科及び質問紙に関する調査の結果分析」を御覧ください。